



教育福島

'84 1

ちよつとひとこと

米倉 兌



芭蕉は福島に入るとき馬であつた。館代に馬で送られてきている。そして福島を出るときも、また馬である。馬牛沼あたりで下馬したか、それとも白石まで乗っていったのか。

笠摺は崖せまり、あぶみをするほどの意か私の持つている幕末の道中地図にはくらわり坂となっている。

ともあれ県内は川舟にのつている。季節がら雨の日も多く、飯坂の一夜は雷雨、土座の寢床に雨もり蚤蚊で眼れず持病までおこりて消えいるばかりとある。勿論当時のこと、さもありませんとは思ふもの、単なる日記でない細道のこと、旅の苦渋のはじまりをかくはと福島生まれはかんぐるのである。

(よねくら・とある)

目次

表紙題字 福島県教育委員会教育長 邊 見 榮之助

新年を迎えて

うるおいのある日々 福島県知事 松平 勇雄 5
 一層の充実を 福島県教育委員会教育長 邊 見 榮之助 6

はるなつあきふゆ

こけしは生きている こけし無審査工人 鎌田 文市 8

特集

教育研究の推進 教職員研究論文特選入賞者の論文概要 10

随想 ずいそう 〈若き教師におくることば〉

伏見 裕方・高畑 光・川田 正裕・菅 光照
 渡邊 豊一・斎藤 昭夫・川音 朔郎 32

まちからむらからこんにちは 体育施設の管理運営 南郷村教育委員会 40

教育センターから 理科指導に関する研究紹介 42

図書館コーナー 話題の「ふるさとの本」 一昭和58年 44

知っておきたい教育法令 補助教材と著作権 45

告知板 各種表彰・ほか 46

ふるさと探訪 中田横穴出土品 (いわき市) 50

羅針盤 卒業予定者の進路希望状況 51

こぼればなし 49